

第12回口頭弁論と講演会、11月30日

ストップ・リニア！訴訟の第12回口頭弁論が11月30日に行われます。また、弁論終了後に衆議院第一議員会館で山梨県立大学前学長の伊藤洋さんの講演会があります。

第12回口頭弁論

法廷では引き続き原告側の主張に対する被告（国）側の弁論が行われる予定です。原告側も、JR東海による岐阜県、愛知県での環境アセスなどの疑問について代理人が意見陳述をします。これまで同様に多くの皆さんの結集で傍聴席を埋めましょう。

11月30日の行動予定

13時15分：東京地裁前集合 地裁前集会
14時00分：傍聴券抽選
14時30分：開廷（閉廷 15時20分）
15時40分：裁判報告
16時15分：講演会（衆議院第一議員会館多目的ホール）
14時30分から1階ロビーで入館証配布
17時45分：終了予定
東京地裁、衆議院第一議員会館付近の地図
東京地裁は地下鉄「霞が関」下車、A1出口から徒歩1分です。

講演会『工学的見地から見たリニア新幹線の問題』

リニア新幹線は研究着手から50年以上を経過、ようやくJR東海が品川・名古屋間の建設に取り掛かった。

その前途は明るい未来なのか。否である。

286キロの86%がトンネルという工事。膨大な残土を運ぶための処分場さがし、残土を運ぶため膨大な量の工事車両が走りまわる。重い車両を持ち上げて500キロのもうスピードで走行するため、とてつもない電力量を浪費する。また事故の危険を防ぐ手立ては万全なのか。今回は工学的見地から見たリニア新幹線の安全性や経済的合理性を見てみる。

山梨県立大学前学長・伊藤 洋 さん

1940年 山梨県生まれ。東北大学大学院電気および通信工学科修了。1978年 山梨大学教授。2009年 山梨県立大学学長就任。『えんぴつで奥の細道』（ポプラ社）、『科学技術と人間』（山日新聞社）など著書多数。

問合せ：ストップ・リニア！訴訟原告団事務局 080-6545-8784

[2018-1109-飯田]